

ISA CERTIFIED TREE WORKER CLIMBER SPECIALIST®

資格取得の概要

- 目 的**
- ・ ツリーケア業務に従事する技術者の専門性を向上させること。
 - ・ 個々技術者の継続的な専門性向上努力を促しモチベーションを高めること。
 - ・ 専門知識を問う資格試験を前提にすることで民間一般または政府・公共団体にとってツリーケア作業に関する包括的な知識と技能を兼ね備えた専門技術者の評価判断を容易にすること。
- 受験資格** ツリークライミングを含むツリーケアの業務に最低 18 ヶ月(1.5 年)以上の実務経験。
TARS(樹上救助法)、 CPR(心肺蘇生法)、 First Aid(救急応急手当)についての公的機関の研修の受講修了。
- 試験内容**
- 筆記試験 安全、伐採、リギング(吊り下ろし)、剪定、ケーブリング、樹木の科学、樹木の識別、電気の危険に関すること。
全 65 問の四者択一問題。制限時間は、1 時間 30 分(90 分間)。
- 実技試験 有能なツリークライマーとして職務を遂行するのに必要な基本的技術を備えているかどうかを評価検証する。
屋外フィールドで行われ、制限時間の約 30 分(会場毎に時間設定)以内に安全且つ確実に試技を完遂させなければならない。
- 日程と会場**
- 筆記試験 全国各地のピアソン VUE(Pearson VUE)試験会場にて。
実技試験 AO-JAA が開催実施。年間 2 回(今年度から 3 回を目標)。
- 受験手数料** ISA 及び JAA 会員 \$ 115USD、非会員 \$ 165USD。
筆記試験(コンピュータ試験)には \$ 125USD コンピューターセンター手数料が別途必要。
- 願 書 提 出** 願書に漏れなく記入し、国内締め切り前にリードエバユエーターへ提出。確認の末、リエゾン経由で ISA へ提出。クレジットカードで支払。筆記試験の締切日は無い。
願書の記載内容や添付書類、またはカード支払いに何か問題があり、解消されない場合は、試験を受けることができなくなることがある。
- 受 理 確 認** ISA にて正式受理されると郵送で、会場、日時、連絡窓口を明記した通知文書が送られる。
筆記試験は日時を設定する方法を電子メールで送られてくる。予約と受験は 90 日間の有効期限内に。
- 試験の準備** ISA が発行している「Tree Climber's Guide, 3rd Edition (Lilly, 2005)」をテキストとして学ぶことを推奨。
その他、推薦の出版物等は以下のとおり。

- ANSI A300 Standard for Tree Care Operations (Part 1) – Pruning.
- ANSI Z133 Standard for Arboricultural Operations – Safety Requirements.
- ArborMaster® Training Series DVDs
- ISA, 2008. Best Management Practices – Tree Pruning.
- ISA/TCIA, 1999. Basic Training for Tree Climbers DVD.

実技試験の準備 採点用シートの理解

試技を可・不可で判定。満点は、505 点。不可と判定される毎に減点。合格点は、404 点。
重大な瑕疵は 1 回で 102 点の減点で不合格扱い。

クライミング前

器具の点検精査 器具を実際に点検し、安全を脅かす不備がないかどうかを目視で確かめ性能を説明できる能力を持っていることを示す。不備のある器具の使用はできない。

適切なタイ・イン 認められたフリクションヒッチは、トートライン・ヒッチ、ブレイクズ・ヒッチ、ディステル、シュワビッシュ、フレンチ・プルージック (VT)

エイトノット ロープのランニングエンド

オンロープテスト ボディ・スラストまたはフットロックを実技し少し登攀。両手をロープから放し、両足を木の上に乗せた状態で、安定姿勢になる。

ノットとヒッチ 6 種類の結びを個々に 1 分以内で。正確に結ぶ。
3 課題以上の違いで失格。

ロープスロー：樹木とフィールドの点検精査 電線と設備、地上の危険性、空中の危険性、樹木の構造と安定性

ロープスロー：クライミングロープの設置 最初のスローで時間がスタート。スローは最大 5 回まで。

確実なエントリー：樹木への確実なエントリー 認められたフリクションヒッチで確実に設置。ボディスラストもしくはフットロックにて登攀。

ロープでの前進：樹上での木の精査点検 潜在的に危険な要因の有無を精査するため声に出して点検。

予め決められた最終のタイ・イン位置まで登る。この間、常時確実にタイ・イン、もしくは安定された状態を維持。必要に応じて何回もロープを投げるができる。ポールの使用も認められる。ランヤードを駆使して登る事も認められる。

ロープでの前進：予め決められた最終タイイン位置まで上る ランヤード、クライミングロープの逆の末端、あるいは 2 番目のクライミングロープによって。

タイ・イン：最終タイ・イン 認められたフリクションヒッチとクライミングロープのランニングエンド末端のストッパーノットとともにタイ・インする。

タイ・イン：最終タイ・イン迄の制限時間 20 分の制限時間内に最終タイ・インができないと失格。

手でのタッチ: 第一ワークステーション バランス、制御、安定姿勢を維持しつつ、フラッグまたはベルに手で触れる。

ポールソーはポールソー 長柄のこぎり 第二ワークステーション ポールソーは要求して地上から上げてもらい一旦樹上に設置。バランスをとり安定した姿勢を保ちつつ確保された状態で、必ず両手で保持し、フラッグまたはベルに触れる。一旦安全に設置してから認められた結びで結束して安全に地上へ降下させる。

下降: 地上への降下 クライミングロープのランニングエントを手繰り寄せて地上に届く長さを確認またはエイトノットのストッパーノットを提示。制御された状態で、安全な速度で降下。

実技試験の時間制限 約 30 分以内にすべてを完了させる。

試験会場に持参できるもの 適格且つ安全基準に沿った、よく点検され良好な状態にあるクライミング・ギアの一식을すべて揃えて持参。

必須のギア(いずれもメーカー保証のある規格に適合しているものに限る)

- ・ クライミング用ヘルメット
- ・ 安全ゴーグル・安全グラス
- ・ 作業ブーツ(くるぶしが包まれる靴・地下たびは不適)
- ・ クライミング用ロープ
- ・ クライミングサドル (ハーネス)
- ・ 複数のダブルオートロックカラビナまたはロッキング・スナップ
- ・ ランヤード
- ・ ハンドソーと鞘(ハンドソーは刃をテープ等でプロテクト)

試験場にて 有効な写真付きの公的な身分証明書(運転免許証等)と受験票を持参。

資格の取得 認定確定の要件 筆記試験と実技試験があり、験資格取得のためには両方の試験に合格しなければならない。合格には筆記試験が 70%、技能試験が 80%以上の得点が必要。双方の試験が合格点に到達していないと、総合的に合格に至るまで、不合格試験を再受験。

試験の採点について コンピュータセンター試験では、試験を実施する ISA の委託業者により採点。(現行日本国内ではすべてコンピュータ試験での実施。) 実技試験では試験の現場監督を認められた ISA エバユエイターにより採点が行われ、ISA 本部で採否判定がなされる。

試験結果と資格認定の通知 コンピュータ試験では試験終了直後に結果がわかる。正式な試験結果は約 6 週間後に試験の合否が通知。参考として筆記試験各分野毎の得点スコアが示される。実技試験は合否の判定が通知される。合格者には、ISA よりお祝いレター、スコアシート、認定資格証明書、ID カード、ヘルメット用資格ステッカーと資格ワッペンが届く。